

平成 29 年度 特別支援教育の推進について

特別支援教育課

～ すべての子どもが輝き、共に学び共に育つ学校・地域を目指して ～

1 特別支援教育の充実

特別支援学校に通う児童生徒の障がいの重度・重複化や小・中・高等学校における発達障がいのある児童生徒の教育的ニーズに応じた支援の充実を図るため、特別支援教育にかかわる専門性を向上させ、自立活動教育の充実を図るとともに、特別支援学校のセンター的機能により、小・中・高等学校の特別支援教育への支援を行う。

(1) 特別支援学校の専門性の向上

- ① 自立活動担当教員の増員【平成 29 年度：20 人（平成 26 年度から平成 29 年度までに 80 人）】
自立活動担当教員を増員し、特別支援学校における障がい特性に応じた専門的教育やセンター的機能による地域の小中学校への巡回支援を充実
- ② 特別支援学校の自立活動教育を充実させる専門職員の配置及び外部専門家の派遣
介護福祉士の資格を持つ学校介助職員を配置（20 人）するとともに、理学療法士、作業療法士等の外部専門家を派遣
- ③ 特別支援学校就職支援プロジェクト事業の実施
就労コーディネーターを配置（4 人）するとともに、特別支援学校技能検定導入に向けたモデル研究（4 校）を実施することを通して一般就労を希望する生徒の就労を支援

(2) 教育的ニーズに応じた教育の場の保障と小中高等学校の支援力の向上

- ① LD等通級指導教室の設置【小学校：34 教室 中学校：5 教室】
- ② 特別支援学校のセンター的機能による小中学校への巡回支援【再掲】
- ③ 発達障がい支援力アップ出前研修の実施
- ④ 「高等学校特別支援教育研究会」の開催
- ⑤ 高等学校特別支援教育支援員の配置（外部人材を活用し、6 校の研究指定校を支援）
- ⑥ 高等学校における通級による指導に係る文部科学省モデル研究の推進（平成 26 年度～1 校）
- ⑦ 合理的配慮にかかわる実践事例集の配布・活用

2 地域における連携・相談支援体制の充実

障がいのある子どもを地域で支える連携体制づくりを進める。

(1) 長野県特別支援教育連携協議会の開催

次期特別支援教育推進計画の策定に向け、目指すべき姿や取組の方向性などを検討

(2) 教育支援（就学相談）機能の向上

- ① 長野県教育支援委員会の開催（年 3 回）
- ② 市町村教育支援（就学相談）体制整備研修会、及び校内教育支援（就学相談）研修会の開催
- ③ 特別支援教育推進員（4 人）による市町村及び幼稚園・保育所、小中学校に対する助言・支援

(3) 地域の支援力や連携機能の向上中核となるコーディネーター養成研修の開催

- ① 中核となるコーディネーター養成研修の開催（年 4 回）
地域の支援力向上や地域連携の充実を中核となって推進する人材の育成
- ② 特別支援教育地区代表者会の開催（年 2 回）

3 特別支援学校の環境整備等

児童生徒の障がいの状況や実態に対応し、教育的ニーズに応じた教育環境の充実に努める。

(1) 特別支援学校医療的ケア看護師配置事業

医療的ケアが必要な児童生徒が在籍する学校に看護師 32 人を配置

(2) 特別支援教育の推進を支える学校施設設備の充実

中信地区特別支援学校再編計画に伴う施設設備（松本盲、寿台養護、松本ろう増改築工事）教育環境の整備を図るための施設計画整備等